

入賞

一般建築物の部

建築主：有限会社和楽
設計：有限会社トーシン建築設計事務所
施工：直営（大工 田中正男）
所在地：香取市佐原イ3412

～佐原の重要伝統的建造物群保存地区に加わった、魅力的な伝統木造の商家～

有限会社 和楽 ギフトSHOPわこう

この建物は、重要伝統的建造物群保存地区（佐原）の小野川右岸沿い中橋から3軒目にある。これまで何度か本賞の見学で訪れた。本地区が文化財保護法によって定められた保存地区であるため、ここに記す新築商家の構造は伝統木造2階建てであり、景観・環境を脅かさないことを考慮し、可能な限り伝統的建物とした。そして、周囲と共鳴し合いより豊かな街並みを発展させるような建物とする理念に基づいて、全体が企画・設計された。最近川沿いの道路が美しく舗装され、デザインされた街灯を新設するなど、保存地区の街路景観は一変した。



佐原重要伝統的建造物群保存地区に
溶け込む建物になって行くでしょう



前面小野川右岸道路からの写真、
申請建物と大和堀

建物の1階はカフェ及びギフトショップ、2階は快適な民泊用である。計6名がベッドで宿泊できる、この地区では珍しい施設だ。屋根は三河いぶし瓦切り落し棧瓦葺き、出し桁化粧垂木とし、外壁の見え掛り部分は和風下見板貼り、建具も木製とするばかりでなく、この独特な地区に馴染むよう、塀も木製押し縁板塀とした。また内部空間も、1階カフェと2階A室の天井に民家風踏み天井を採用し、和風を印象付けた。この地区には観光客用のトイレがなかったため、誰でも使える男女用トイレ及び子供連れ用の給湯設備付き授乳室を設置し、公的利便性に配慮した。

（岩村 和夫）

入賞

一般建築物の部

建築主：柏市
設計：有限会社ナスカ一級建築士事務所
施工：広島・古川特定建設工事共同企業体／城山・森特定建設工事共同企業体
岡田・トキワ特定建設工事共同企業体／日進・三和特定建設工事共同企業体
所在地：柏市箕輪新田59-2

～ヒト・モノ・コトが大屋根に集う～

道の駅しょうなん てんと（直売所棟）

この「てんと」と呼ばれる大屋根は、手賀沼畔に位置する道の駅の拡張としてつくられた農産物直売所である。家型の同じ形の棟を連結させた屋根の形状が特徴的だが、周辺の風景にみられる農業ハウスを参照したものだという。

農業ハウスの形態は、妻面に強い正面性をもつ。それに対して、45度に切り落としていくことで、いくつもの方向に顔を向けている姿に仕立てている。柏市側からきても、橋を渡って我孫子市側からきても、手賀沼の水辺から立ち寄りでも正面が出迎えてくれるように工夫したという。象徴的な造形には成功したが、平面構成をみると沼に



南側外観

（撮影：新建築社写真部）



人々の通過動線であり、
滞留動線にもなる大屋根下ひろば

（撮影：浅川敏）

背を向けている。プロポーザル案で示されていた、ガレリア的空間を抜けて水辺に誘われる流れが弱まっているのが惜まれる。

道の駅はそもそも、一般道にも高速道路のSA/PA的なものを求める声に応じて国レベルで制度化されて生まれた。地元自治体に関わることから、地域振興施設としての役割が強まっていった。道の駅しょうなんは、柏市のアグリビジネスパーク構想に基づいている。地元の農家さんや住民が参画する手賀沼まちづくりセンターが運営に関わる試みは、今後、都市的住民の多い地域の道の駅のモデルになっていきそうだ。

（岡部 明子）